

樽前山

○ 11 月の火山活動評価：やや活発な状況

A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続いていると推定されます。引き続き火口近傍では注意が必要です。

○ 11 月の活動概況

・ 噴煙及び熱活動（図 2～6）

A 火口及び B 噴気孔群の噴煙高度は概ね 100 m 以下で推移し、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

13 日に北海道開発局の協力を得て実施した上空からの赤外熱映像装置¹⁾による観測では、山頂ドーム及びドーム周辺の火口や地熱域の状況に変化はありませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・ 地震活動（図 2、図 7、表 1）

火山性地震は一日あたり 0～13 回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。求まった震源は山頂ドーム直下のごく浅い所に分布し、これまでと比べて特に変化はありませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 8～9）

GPS 連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されませんでした。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況（12 月 6 日現在）

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、噴火警報及び噴火予報の発表と、噴火警戒レベルの運用を開始しました。それに伴い、12 月 1 日に樽前山に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

・ 活動状況及び予報警報事項：噴火警戒レベル 1（平常）

樽前山では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

山頂火口原内の溶岩ドームの A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続いています。溶岩ドーム及びその近傍では、火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要です。

樽前山の噴火予報・警報は、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）です。

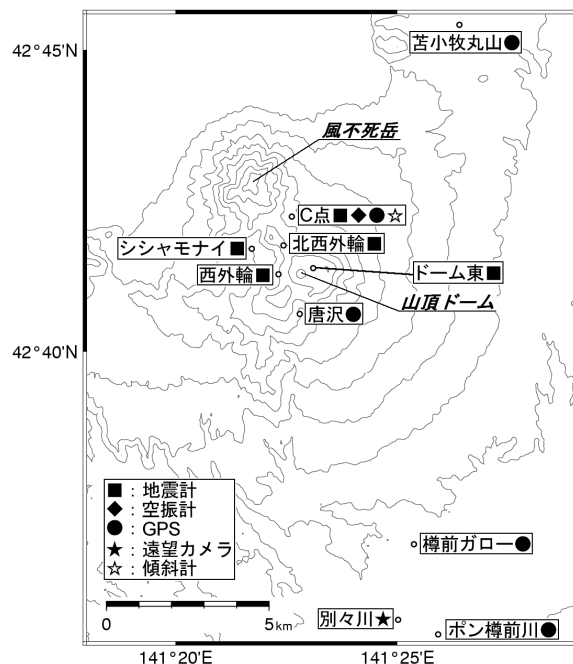


図 1 樽前山 火山観測点配置図

※ 資料は気象庁のほか、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道立地質研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

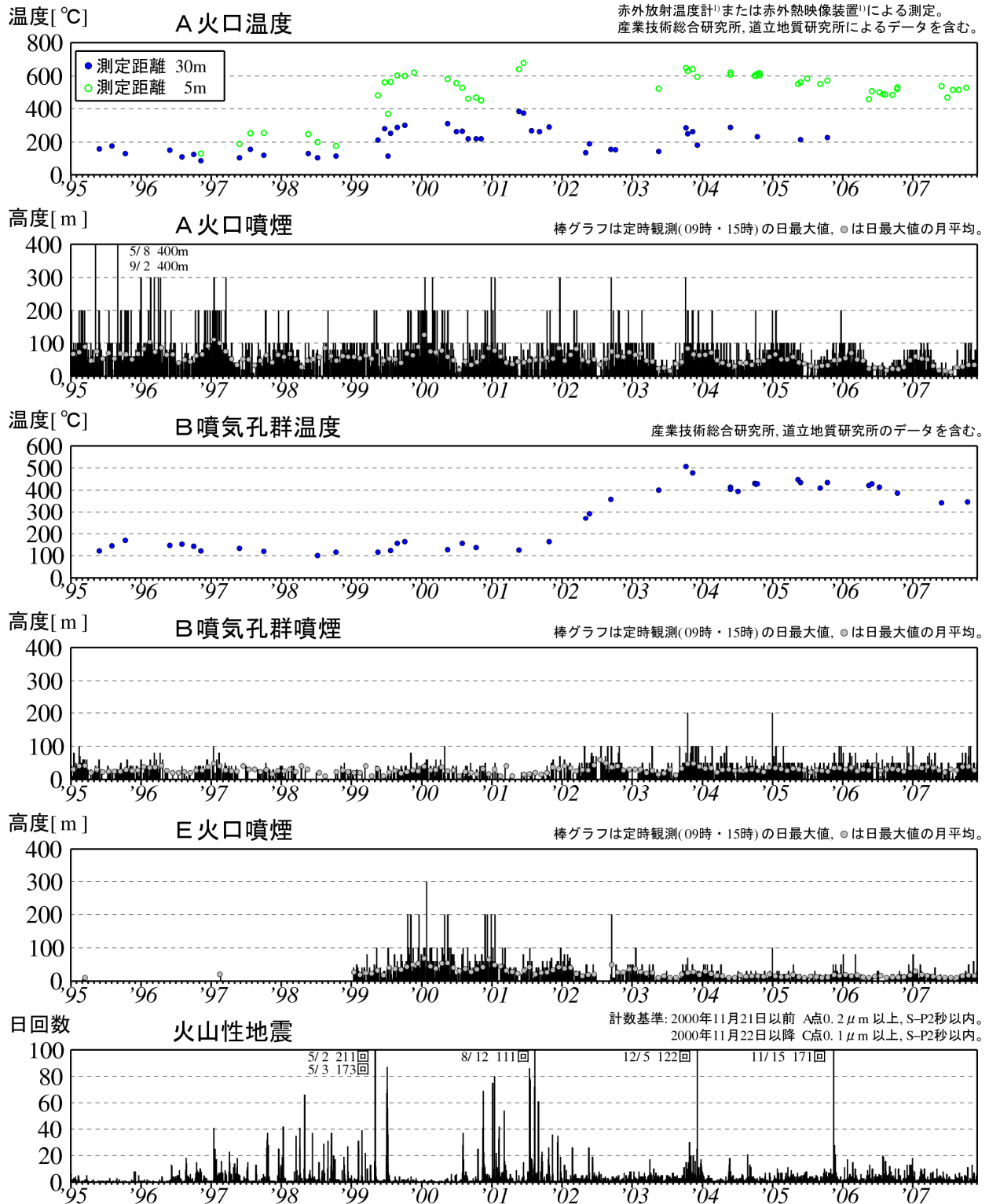


図 2 ※ 樽前山 最近の火山活動経過図 (1995 年 1 月～2007 年 11 月)

- ・ A 火口の温度は 1999 年から、B 噴気孔群の火口温度は 2002 年以降高温の状態が続いています。
- ・ 地震活動は 1996 年以降消長を繰り返しています。2005 年 11 月に一時的に地震回数が増加しましたが、その後は少ない状態で経過しています。

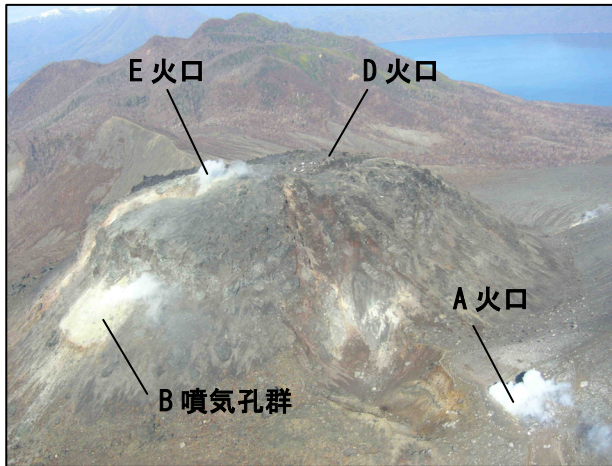


図3 樽前山 山頂ドーム周辺の状況
(2007年11月13日 図4の①方向から撮影)

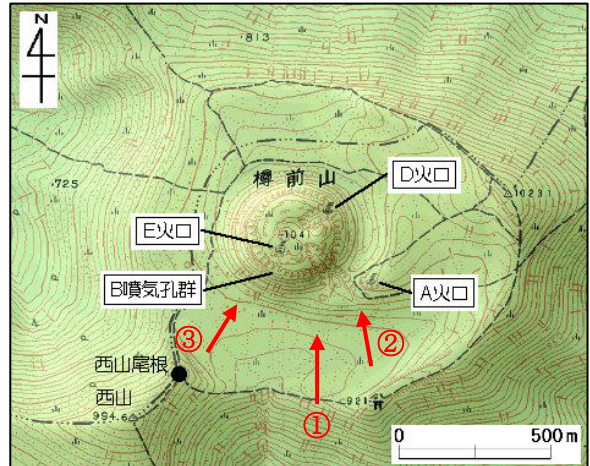


図4 樽前山 山頂周辺図

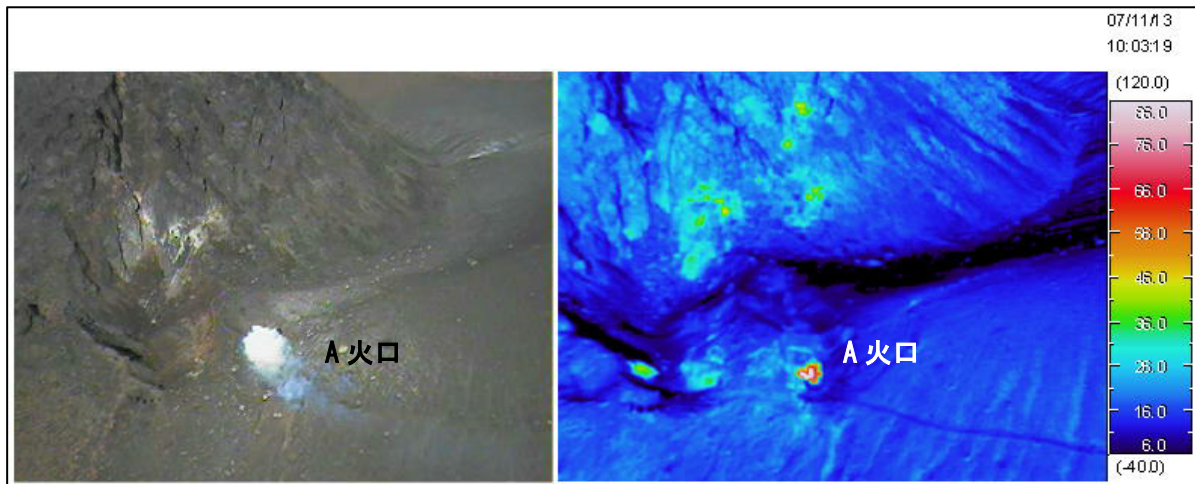


図5 樽前山 赤外熱映像装置¹⁾によるA火口周辺の地表面温度分布
(2007年11月13日 図4の②方向から撮影)

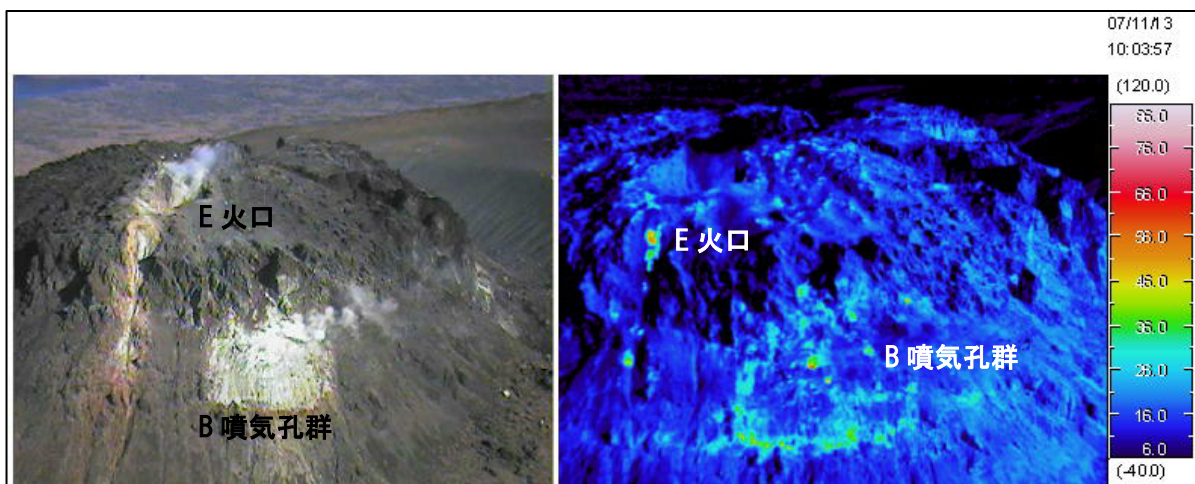


図6 樽前山 赤外熱映像装置¹⁾によるB噴気孔群周辺の地表面温度分布
(2007年11月13日 図4の③方向から撮影)

- ・赤外熱映像装置¹⁾による観測では、A火口及びB噴気孔群に対応する高温域が認められました。A火口及びB噴気孔群では引き続き高温の状態が続いているものと推定されます。
- ・その他の火口の状況には特段の変化は見られませんでした。

表 1 樽前山 地震・微動の月回数 (C点: 図7の TARC)

2006~2007年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	123	42	87	40	49	56	45	29	57	42	49	52
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

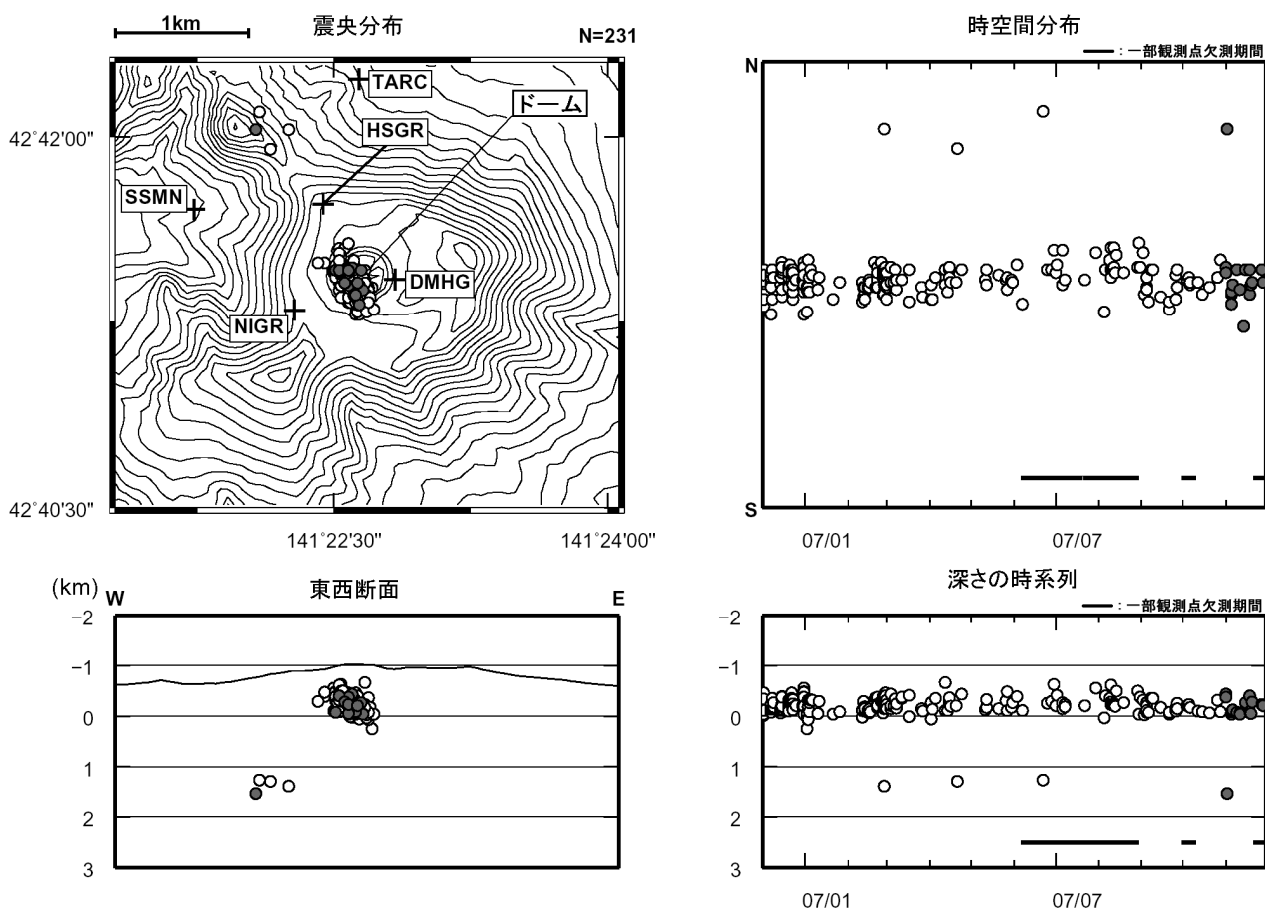


図 7 樽前山 震源分布図 (2006 年 12 月~2007 年 11 月、+は地震観測点)

表示期間中、2007 年 6 月 6 日~2007 年 8 月 30 日、2007 年 9 月 27 日~2007 年 10 月 10 日及び 2007 年 11 月 21 日~2007 年 11 月 30 日の期間は、一部観測点欠測のため震源決定数が減少し、精度も低下しています。

●印は今期間 (2007 年 11 月) の震源

○印は前期間までの 11 ヶ月間 (2006 年 12 月~2007 年 10 月) の震源

・前期間までの震源は山頂ドーム直下のごく浅い所 (山頂から深さ 0.5~1.0km 付近) に集中し、ドームの北西 1.5km 付近の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

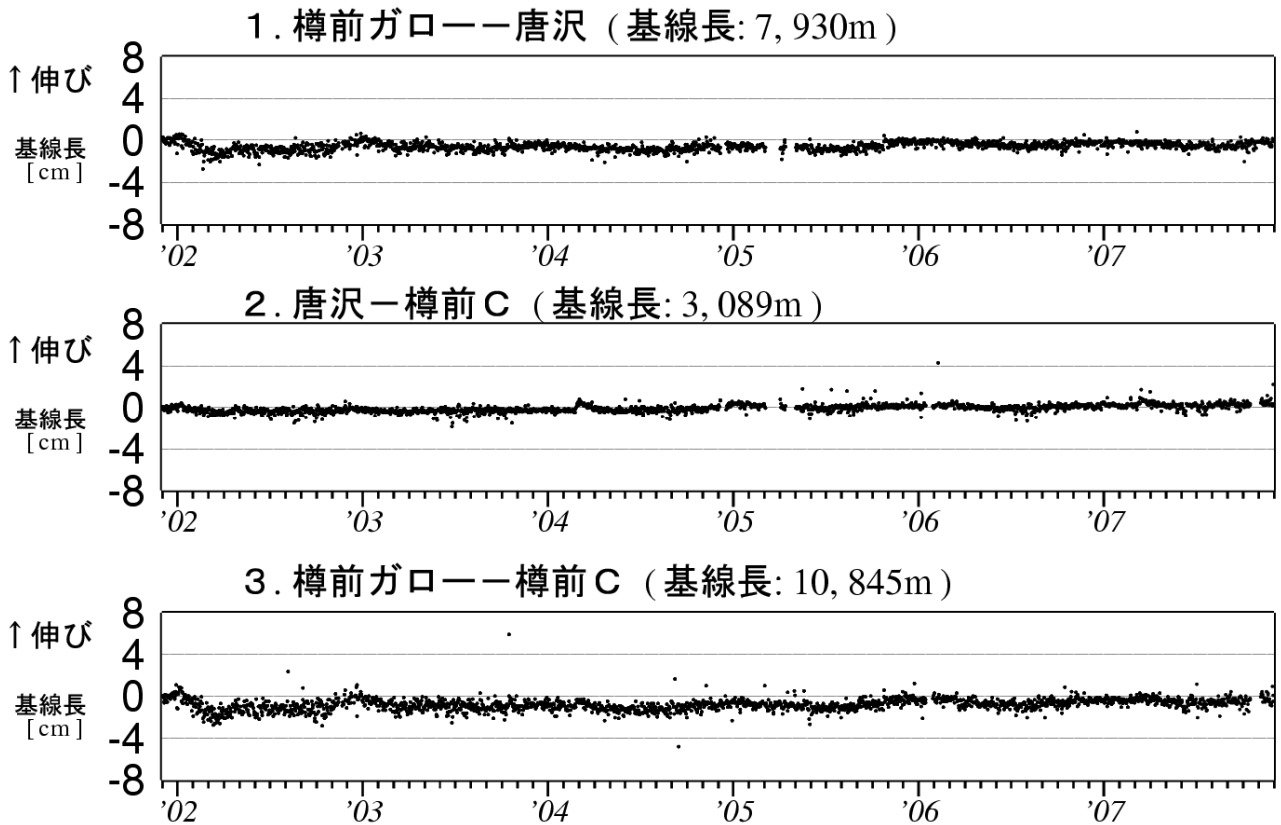


図8 樽前山 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 12 月~2007 年 11 月)

グラフの空白部分は欠測

図8の1~3は、図9のGPS基線①~③に対応しています。

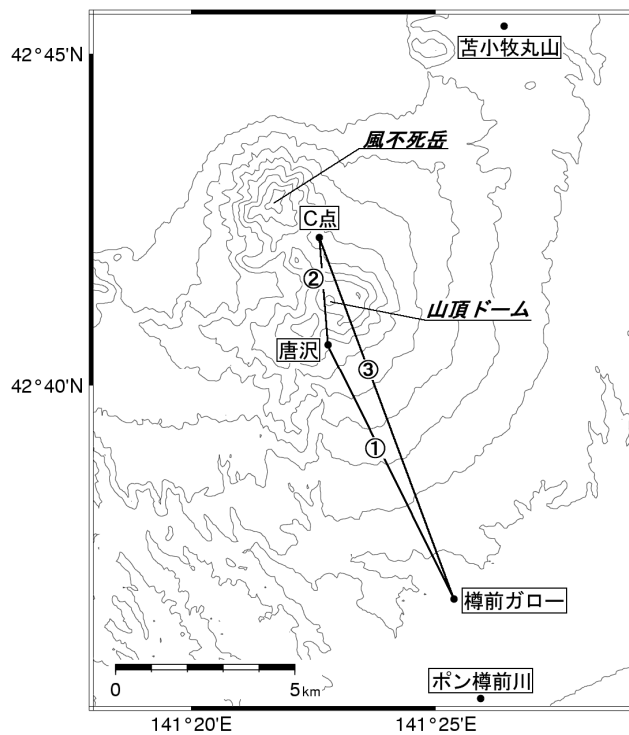


図9 樽前山 GPS 観測点配置図